

コロナ禍でも楽しい活動やつてます♪



広報誌みんないき第71号 発行日: R4.11.24

社会福祉法人 至泉会 理事長 辻 隆造
福祉型障害児入所施設 精陽学園 園長 市川進治
〒254-0005 神奈川県平塚市城所922
TEL: 0463-54-5312 Fax: 0463-54-8233
メールアドレス: seiyou@shisen.or.jp
法人ホームページ: <https://shisen.or.jp/>
精陽学園: <https://shisen.or.jp/seiyou-gakuen/>

題字: 田村 友大くん

日頃からの皆様のご支援、ご協力により、精陽学園も昭和五十八年四月に開所以来、来春には四十歳を迎えることになりました。建物等も修理箇所が徐々に増えていますが、この三年間で、新型コロナウイルス感染症対策による改装、個室の増設、発電機の更新、リフト車の購入、防犯設備の設置等、安全で住みやすい生活になるように職員一同努力してまいりました。

新型コロナウイルス感染症への対応は、こども達の生活、学校教育等にも大変大きな影響を受けております。生活の様々な自制により、いつもなら出来る学校に行くこと、お買物や食事に行くこと、自立への取り組みを行うこと等、大変貴重な時間を失ってしまいました。今年度からは、感染予防に配慮しながら、少しずつ出来ることを増やしてきました。

そのような状況において、精陽学園を卒園したメンバーからは、「秋まつり」は出来るの? やっぱり難しいよね? もうやらないの? コロナがあるから遊びに行きづらいよ! 秋まつりに行く」とをとうとも楽しみにしている! 等と多くの声が届いています。改めて「秋まつり」は、卒園したメンバーにとって、里帰りの機会になつていいことを実感させていただき



(七年前に卒園し、九月から大阪で生活を始めた杉崎美奈さん、大阪あべのハルカス展望台より)

「アフターコロナと秋まつり」
園長 市川 進治

私達職員は、目の前にいる「ども達に精一杯向き合う」と共に、精陽学園を巣立つていったメンバーに対しても、里帰りできる場をしっかりと持つていかなければならぬと強く感じました。懐かしいメンバーと一緒に、近況を話し合うことは、とっても嬉しいことです。そこから、これからどのような支援が必要なのか、あの時の対応が良かったのか等、たくさん振り返って考えることが出来るので、とっても大切な機会なのです。

人は前を向いて進んでいますが、時には振り返って和む時間も必要です。その機会が、次の一步につながっていくものであると思います。来年には、必ず卒園したメンバーとの再会が出来るようにしていきたいと思います。



絵本読み聞かせボランティア

「きいろいおうち」の皆様□



駄菓子屋さん 開店!



☆やっぱり夏は水遊び☆



アマゾンプライム鑑賞会



夏休みの宿題中!



添恒例の花火大会



サンドイッチ作ったよ☺



プリン美味しいね♪



精陽学園でのコロナ対策

課長代理 小池 俊

精陽学園では、三回コロナウイルス感染症がありました。

一回目は、対処方法がはつきりせず終息まで一ヶ月ほどかかりました。二回目以降は、一日の経験を踏まえて早め早めの対応を心がけてきました。幸い、重症化する子どもがないなかったですのは良かったと思っております。

対応方法としては、子ども達には別室対応をし、「元気な子と交わらないようにします。職員は、N95マスクを着け全身を覆うガウンを着て対応にあたります。ガウンを着て動くのは、とても大変でした。

一番の対応方法は、「予防する事です。」

子ども達には、外出に際してはできるだけマスクを着けて行きます。また、手洗い・手指消毒・うがいも行っています。

今回のテーマは「元気に過ごすために取り組んでいること」職員や中高生の子どもたちへ、取り組んでいることを聞いてみました★



「ご寄付のお礼」

個人の方及び各種団体様より、現金、日用品、衛生用品、食料品、絵本、遊具等、子ども達のために、たくさんのご寄付を頂きました。

(ご寄付を頂いた団体様)



衣類はビニール袋へ入れて日付記載

平塚市利用組合青年部様

関東アイスクリーム協会様

(株) きらりおうち様

農業生産法人湘南小巻ファーム様

NPO法人 気持ちを届ける会様

JA湘南城島支店様

(株) 荒井商事様、他

尚、個人名は控えさせていただきます。



ホワイトボードを活用しての情報共有



一ヶ所に備品を配置



「非常用自家発電設備の更新」
スプリンクラー用の非常用自家発電設備が経年劣化で修理が困難となり、障害福祉施設整備費補助の決定を受け、令和三年七月に新しく入れ替えました。

停電時に貯水槽の電源にもつながり、生活水の提供も出来るようになります。



例えば、私は本を読むのが大好きなので、寝る前の十分くらいの時間を使って本を開いてみたり、仕事終了後に甘い物を買って帰ってみたり、わりにゆっくりお風呂に入つてみたりなど、身近に出来ることをしています。

子どもたちが取り組んでいること

児童指導員 矢田部 茉唯

① 健康に過ごすために、気をつけていることはありますか？

- ・早寝早起きをする。
- ・手洗い、うがいをする。
- ・ごはんをしっかり食べる。
- ・部屋の換気をする。



- ② コロナ禍になって外へ出かけるときには、気をつけることがありますか？
- ・マスクを頑張って着ける。
 - ・距離をとる。
 - ・水分補給をする。



③ みんなにとって元気になる

アイテムはありますか？

- ・ダンスを踊ること
- ・好きなアイドルや歌手、アニメの歌を聞くこと
- ・例：ジャニーズ、niziU、AKB48、MONGOL800、青空のハーフドライなど
- ・好きなものを食べること

- ・例：コーヒー、アイス
- ・好きなものを食べること



私は基本的感染症対策の他に元気

に過ごすために休日に好きな事をする時間を必ず作っています。体だけではなく心も元気でいる為です。

私の好きなことはクラリネットを吹くことです。防音室を借り、一日三時間程度ですが、吹奏楽曲やクラシックのソロ曲など吹きたいものを自由に吹いています。今までやりたことも出来なかつた曲や時間をかけて練習したいことなど一人だと練習内容も自分で考え、満足いくまで出来る為やりがいもありとても楽しいです。

クラリネットを吹くことはストレ

ス発散にもなり、また明日からも頑張ろうという気持ちにもなるため出

来る日には必ず吹く様にしていま

す。



保育士 吉澤 舞香

私は、制限の多いコロナ禍において、身体だけでなく「心」が疲れてしまわないよう、小さな事でもリフレッシュする時間を作ることを、心掛けています。

例えば、私は本を読むのが大好きなので、寝る前の十分くらいの時間を使って本を開いてみたり、仕事終了後に甘い物を買って帰ってみたり、ゆっくりお風呂に入つてみたりなど、身近に出来ることをしています。

忙しさの中で、自由な時間を作りづらい時もありますが、自分にとつての「小さな幸せ」を感じられるような時間を、毎日コツコツ作っています。

私が心も身体も元気に過ごしていくため大事なのではないかなと思います。

